

たなばた きょうじしよく 7月 きゅうしよくゆうびん
 七夏の行事食 松本市学校給食センター



七夏とは…昔、「棚機女」という娘が、神さまに布をささげると、災いのがのぞかれるという言い伝えが日本にありました。そこに、中国から伝わってきた、お盆の行事や「彦星が1年に一度、7月7日に天の川をわたって織姫に会いに行く」という伝説、「裁縫や文字が上手になるようにと星に願う行事」などがまじりあい、今の七夏の行事になっていきました。

七夏には願いをこめて食べる行事食があります。

そうめん



「病気にならないように」と願いをこめて七夏にそうめんを食べます。

松本地域では何を食べているのかな？

七夏まんじゅう

あんこを入れることが多いですが、畑でとれた野菜(なすなど)を入れることもあります。



七夏ほうとう

ゆでたほうとう(平たいうどん)に、小豆やきなこをまぶした、甘いほうとうです。



松本地域の郷土食だね！

七夏の時期(月遅れの8月7日のこと)は、小麦の収穫が終わったところで、小麦を使った食べ物でその収穫を祝ったのではないかと考えられているそうです。松本地域で昔から食べられてきた、知恵と思いのこもった郷土食を大切にし、伝えていきましょう。

